

### 3. センターだより

#### 1. 情報処理センターにおける委員会活動

愛知大学情報処理センターに情報処理センター委員会があり、そのもとに名古屋センター委員会および豊橋センター委員会が置かれ、3校舎（名古屋，豊橋，車道）の管理，運営が行われている。

2001年度後期に開催された、各委員会の議事は次の通りである。

##### 情報処理センター委員会(合同)

◇第4回 12月3日

1. 来年度予算について
2. 523教室（豊橋校舎）リプレイスについて
3. その他

◇第5回 12月17日

1. 来年度予算について
2. その他

◇第6回 2月18日

1. 5号館リプレイスについて
2. 公開講座について
3. 車道校舎再開発について
4. その他

##### 名古屋センター委員会

◇第4回 7月23日

1. 教育学術情報データベース等の開発にかかわる補助申請について
2. ノートパソコンの取り扱いについて
3. 今年度ソフトウェア申請について
4. その他

◇第5回 10月15日

1. 教育学術情報データベースの申請について
2. 豊橋校舎5号館リプレイスについて
3. ウイルス対策ソフトについて
4. その他

◇第6回 12月10日

1. 来年度名古屋校舎・車道校舎予算について
2. その他

◇第7回 2月18日

1. 来年度ソフトウェア申請について
2. Linux環境について
3. その他

##### 豊橋センター委員会

◇第4回 10月12日

1. 523教室のリプレイスについて
2. その他

◇第5回 11月16日

1. 523教室のリプレイスについて
2. 新規予算について
3. その他

◇第6回 11月28日

1. 豊橋校舎施設計画について

◇第7回 12月14日

1. 来年度予算について
2. その他

◇第8回 2月18日

1. センター開館期間について
2. 教育研究用ホームページについて
3. メーリングリスト申請について
4. その他

◇第9回 3月19日

1. 来年度新入生ガイダンスについて
2. 相談室レイアウトについて
3. 国際コミュニケーション研究科設置に伴う申し入れについて
4. その他

## 2. 情報処理センター主催行事

### 講習会

#### ◆名古屋校舎

開講日		講習会名	教室	参加人数
8月9日	木	表計算講習会 Excel入門	第2実習室	1
		電子メール講習会 AL-Mail入門		2
9月14日	金	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	1
		文書作成講習会 Word入門		1
9月27日	木	表計算講習会 Excel入門	第2実習室	15
		電子メール講習会 AL-Mail入門		14
		表計算講習会 Excel入門		11
10月1日	月	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	13
10月4日	木	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	5
		電子メール講習会 AL-Mail入門		3
10月11日	木	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	11
		インターネット講習会		4
10月15日	月	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	10
10月18日	木	表計算講習会 Excel入門	第2実習室	7
		電子メール講習会 AL-Mail入門		5
10月22日	月	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	1
10月25日	木	文書作成講習会 Word入門	第2実習室	4
11月1日	木	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	2
11月5日	月	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	13
11月22日	木	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	4
11月26日	月	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	10
11月29日	木	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	4
		表計算講習会 Excel入門		5
12月6日	木	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	2
12月13日	木	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	6
12月17日	月	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	2
12月20日	木	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	3
		文書作成講習会 Word入門		3
1月17日	木	表計算講習会 Excel入門	第2実習室	2
1月21日	月	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	1
2月14日	木	電子メール講習会 AL-Mail入門	第2実習室	2

#### ◆豊橋校舎

開講日		講習会名	教室	参加人数
10月4日	木	Word入門	413	中止
10月11日	木	Excel入門	413	4
10月15日	月	電子メール入門	423	中止
10月18日	木	Windows入門	413	2
10月22日	月	Excel入門	423	7
10月25日	木	Word応用	413	1
10月29日	月	Word入門	423	4
11月8日	木	電子メール入門	413	6
11月12日	月	Word応用	423	5
11月19日	月	Excel応用	423	8
11月22日	木	Word入門	413	2
11月26日	月	電子メール入門	423	3
11月29日	木	Excel入門	413	5

### 3. 情報処理センター活動報告

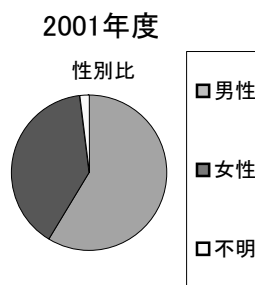
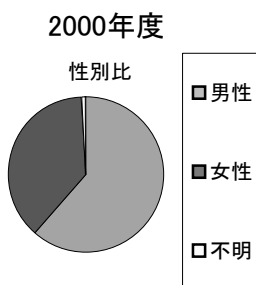
#### 1) 名古屋情報処理センター

#### パソコン・ワープロに関するアンケート集計結果(2000年度、2001年度)

集計 情報処理センター事務課  
樋口 裕嗣  
学生相談員 経営学部3年  
榊原 孝

2000年度	2001年度
有効回答者数	有効回答者数
838	1025

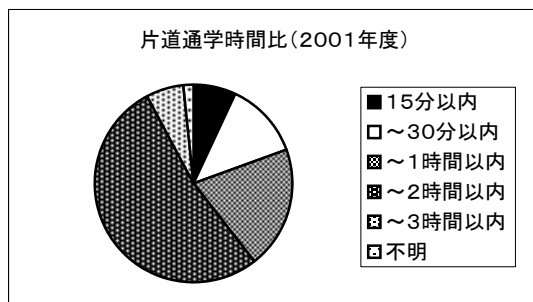
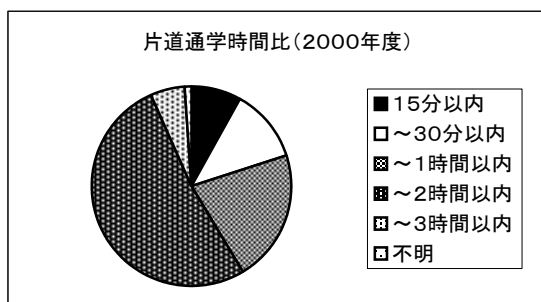
2000年度			2001年度		
男性	女性	不明	男性	女性	不明
514	319	5	602	402	21



年齢	2000年度		2001年度	
	人数	割合	人数	割合
18	683	81.5%	890	86.8%
19	67	8.0%	66	6.4%
20	37	4.4%	23	2.2%
21	13	1.6%	8	0.8%
22	6	0.7%	4	0.4%
23	4	0.7%	1	0.1%
24	1	0.1%	5	0.5%
25	0	0.0%	4	0.4%
26	3	0.4%	1	0.1%
27	1	0.1%	0	0.0%
28	0	0.0%	1	0.1%
29	4	0.5%	1	0.1%
30	1	0.1%	0	0.0%
31	3	0.4%	1	0.1%
37	1	0.1%	0	0.0%
38	1	0.1%	0	0.0%
48	1	0.1%	0	0.0%
51	1	0.1%	0	0.0%
不明	11	1.3%	20	2.0%

Q1. 大学までの片道時間(徒歩や電車などすべてを合計した時間)は、おおよそのくらいですか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
15分以内	67	8.0%	72	7.0%
～30分以内	100	11.9%	126	12.3%
～1時間以内	179	21.4%	205	20.0%
～2時間以内	435	51.9%	543	53.0%
～3時間以内	48	5.7%	61	6.0%
不明	9	1.1%	18	1.8%



Q2. あなたは、高校時代にどのような学科に所属していましたか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
普通科	773	92.2%	922	90.0%
工業系の学科	8	1.0%	7	0.7%
商業系の学科	35	4.2%	50	4.9%
その他	15	1.8%	26	2.5%
不明	7	0.8%	20	2.0%

Q3. あなたの実家に、パソコン(ファミコンのようなゲームは除く)がありますか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
ない	329	39.3%	228	22.2%
ある>SQ1を回答	499	59.5%	773	75.4%
不明	10	1.2%	24	2.3%

SQ1. それは主にどなたが使っていましたか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
あなた以外の家族	276	55.3%	242	31.3%
家族が共同で使っていた	161	32.3%	364	47.1%
あなた自身	84	16.8%	186	24.1%

Q4、それでは、あなたの実家にワープロ専用機はありますか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
ない	385	45.9%	475	46%
ある>SQ1を回答	426	50.8%	511	50%
不明	27	3.2%	39	4%

SQ1、それは主にどなたが使っていましたか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
あなた以外の家族	273	64.1%	311	60.9%
家族が共同で使っていた	146	34.3%	167	32.7%
あなた自身	38	8.9%	55	10.8%

Q5、あなたは、以下のような情報関係の言葉を知っていますか。

2000年度

回答	マルチメディア	グループウェア	インターネット	WINDOWS-NT
聞いたこともない	27	657	10	322
聞いたことがある	562	124	139	362
知っている	204	28	516	110
よく知っている	34	6	163	30
不明	11	23	10	14

回答	MS-WINDOWS	フロッピーディスク	WWW	ネットワーク
聞いたこともない	428	15	319	37
聞いたことがある	287	122	322	472
知っている	77	438	132	251
よく知っている	33	253	51	67
不明	13	10	14	11

回答	DOS/V	電子メール	マウス
聞いたこともない	547	11	16
聞いたことがある	185	253	82
知っている	66	403	361
よく知っている	26	160	368
不明	14	11	11

Q5、あなたは、以下のような情報関係の言葉を知っていますか。

2001年度

回答	マルチメディア	グループウェア	インターネット	WINDOWS-NT
聞いたこともない	37	797	6	399
聞いたことがある	689	174	153	449
知っている	231	28	593	120
よく知っている	43	5	251	33
不明	25	21	22	24

回答	MS-WINDOWS	フロッピーディスク	WWW	ネットワーク
聞いたこともない	516	29	246	31
聞いたことがある	366	138	411	543
知っている	77	503	252	321
よく知っている	42	331	92	105
不明	24	24	24	25

回答	DOS/V	電子メール	マウス
聞いたこともない	651	16	23
聞いたことがある	235	271	89
知っている	82	478	424
よく知っている	33	235	467
不明	24	25	22

Q6、ところで、コンピュータに関する本や雑誌を読んだことがありますか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
購入したことは一度もない	655	78.2%	760	74.1%
何冊か購入した	159	19.0%	223	21.8%
雑誌を定期的に購入している	14	1.7%	19	1.9%
不明	10	1.2%	23	2.2%

Q7、あなたは、高校時代にコンピュータやパソコンに関する授業を受けたことがありますか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
そのような授業を受けたことがない	534	63.7%	621	60.6%
ある程度、論理の話だけ聞いた	51	6.1%	51	5.0%
機械を見学し説明するところまで授業でやった	31	3.7%	37	3.6%
実際に操作するところまで授業でやった	210	25.1%	295	28.8%
不明	12	1.4%	21	2.0%

Q8、愛知大学には、情報処理センターがあり、数十台のパソコンを設置してあります。あなたは、このことを知っていましたか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
知らなかった	318	37.9%	368	35.9%
知っている	321	38.3%	381	37.2%
入る前から知っていた	187	22.3%	255	24.9%
不明	12	1.4%	21	2.0%

Q9、それでは、あなたのパソコン経験度は次のうちどれにあてはまりますか。

回答	2000年度	2001年度
	計	計
全くわからない。パソコン機を直接見たこともない	19	24
パソコン機やそれを操作しているところを見たことはあるが、自分で触れたことは一度もない	61	49
店頭などで触れたことはあるが、まったく操作したことはない	94	87
操作したことがある→SQ1、SQ2を回答	626	823
不明	38	42

SQ1、それでは、あなたのパソコン経験は次のうちどれにあてはまりますか。

回答	2000年度	2001年度
	計	計
他人に教わりながら、キーボードを打った	608	767
ゲームをやった	586	757
日本語ワープロとして、手紙や文書を書いた	421	546
市販のソフトで実務的な作業(経理事務や統計処理など)を行った	98	129
簡単なプログラムを書いた	147	164
操作やプログラミングを他人に教えた	46	66

SQ2、主にどこのパソコンを利用したのですか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
友人のパソコン	43	6.9%	36	4.4%
アルバイト先のパソコン	7	1.1%	4	0.5%
職場のパソコン(有職者のみ)	11	1.8%	6	0.7%
家族のパソコン	301	48.1%	465	56.5%
自分のパソコン	83	13.3%	152	18.5%
その他	221	35.3%	188	22.8%

Q10、大学での情報処理の授業に対して、あなたは、どのような態度をとろうと考えていますか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
あまり関心がないので、学習しようとは思っていない	24	2.9%	58	5.7%
できるだけ選択してみたいー→SQ1、SQ2を回答	410	48.9%	574	56.0%
積極的に学習しようと思っているー→SQ1、SQ2を回答	384	45.8%	358	34.9%
不明	20	2.4%	35	3.4%

SQ1、それは主にどんな理由からでしょうか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
就職に役立つと思うから	426	53.7%	511	54.8%
ゲームなどで遊びたいから	5	0.6%	14	1.5%
自分の専攻分野やその勉強に役立つと思うから	129	16.2%	175	18.8%
みんながやってるから	12	1.5%	9	1.0%
時代に乗遅れるから	76	9.6%	78	8.4%
なんとなく	29	3.7%	51	5.5%
電子メールがやりたい	67	8.4%	36	3.9%
ホームページをみたい	37	4.7%	32	3.4%
ホームページを作りたい	17	2.1%	33	3.5%

SQ2、情報関係の授業では、どの程度のレベルまで学びたいと思いますか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
キーボードを打てる程度	26	3.3%	28	3.0%
年賀状や文書を日本語ワープロで作成できる程度	52	6.5%	61	6.5%
市販のソフトウェアを使って統計処理などができる程度	179	22.5%	220	23.6%
簡単なプログラムが作成できる程度	204	25.7%	246	26.4%
就職先でコンピュータを担当できる程度	341	42.9%	379	40.7%

Q11、それでは、授業に関係なく、自由にパソコンが使用できるとすれば、あなたは使ってみたいと思いますか。

回答	2000年度		2001年度	
	計	%	計	%
関心がないので使うつもりはない	19	2.3%	51	5.0%
使いたいー→SQを回答	793	94.6%	933	91.0%
不明	26	3.1%	41	4.0%

SQ、使用するとすれば、次のうちどんなことに使ってみたいと思っていますか。

2000年度

回答	第1	第2	第3	合計
レポート書き	397	57	77	531
クラブやサークルの経理など	3	37	5	45
情報関係の復習や予習	37	69	66	172
情報処理関係の資格試験の勉強	81	82	53	216
プログラムの学習	41	51	35	127
ソフトウェアの開発	4	11	9	24
電子メール	138	271	73	482
インターネットのホームページを見る	102	203	281	586
インターネットのホームページを作る	14	21	81	116
ゲーム	8	23	118	149
その他	6	4	29	39

2001年度

回答	第1	第2	第3	合計
レポート書き	607	57	95	759
クラブやサークルの経理など	13	102	5	120
情報関係の復習や予習	30	99	135	264
情報処理関係の資格試験の勉強	82	141	65	288
プログラムの学習	37	87	46	170
ソフトウェアの開発	10	21	18	49
電子メール	92	286	107	485
インターネットのホームページを見る	122	183	328	633
インターネットのホームページを作る	17	20	69	106
ゲーム	11	28	118	157
その他	4	1	39	44

Q12、話は変わりますが、以下のような事項で、自分自身にあてはまることがありますか。

回答	2000年度			2001年度		
	はい	いいえ	不明	はい	いいえ	不明
こまかなことをするといらいらする	275	539	24	367	619	39
新しい機械を見るとさわりたいくなる	541	274	23	685	305	35
何にでも好奇心をもつ方だ	504	306	28	664	323	38
ひとつのことをやりだすと、こる方だ	543	265	30	702	287	36
どちらかといえば、のんびりやだ	538	271	29	690	298	37
どちらかといえば、目立ちたがりやだ	241	570	27	322	666	37
考えるよりも行動してしまう方だ	260	549	29	361	627	37
仲間と集団行動をとるのは苦手だ	232	579	27	296	689	40
仲間とわいわい騒ぐのが好きだ	633	174	31	788	198	39

## 2) 豊橋情報処理センター

# 愛知大学公開講座実施報告

案内チラシ

聴講無料

# 『これからの情報教育』

— 小中高から大学までの情報教育の連結は可能か —

小中高等学校の指導要領が改訂され、全体の教育内容の分量が減る中、情報教育に関連した分野は大幅に増強されました。そこで、気になるのは、初等中等教育から高等教育に至る情報教育の一貫性です。今回は、小中高等学校から大学に至る情報教育の連続性について考えてみます。

日時：2002年3月16日（土） 14:00～16:30

会場：愛知大学豊橋校舎 6号館 620番教室

サブ会場：名古屋校舎

（遠隔講義により名古屋校舎において聴講が可能です）

〒441-8522 豊橋市町畑町1-1

主催：愛知大学エクステンションセンター TEL: 0532-47-4154

共催：愛知大学情報処理センター TEL: 0532-47-4124

後援：豊橋市教育委員会

### ■講演1. 「情報処理教育の方向性」— 早稲田大学での現状と展望—

講師：筧捷彦氏（早稲田大学 理工学部情報学科教授）

Kakehi, Katsuhiko

古くからプログラミングの入門教育だけを行っていたが、PCの発達とインターネットの展開に合わせて、全学生への情報リテラシー教育へと舵をきって既に10年が経つ。さらに、単なる「PCとソフトの使い方講習」を捨てて、情報環境を活用しての「教養基礎演習」と位置付けてから4年が経った。

2003年からは、高等学校で情報科が必須となる。そうした学習を経てきた学生を対象に、大学での一般情報処理教育の内容をどのように深めていくかについて論じる。

1970年東京大学工学系大学院計数工学専攻修士課程修了、立教大学理学部講師・助教授を経て、1986年から現職。

情報処理学会、日本ソフトウェア科学会、日本数学会、日本応用数理学会、ACM各会員。ACM日本支部副会長、日本学術会議情報学研究連絡委員会幹事、情報処理学会IFIP TC2日本代表委員、情報規格調査会SC22専門委員会委員長。プログラミングの言語・方法・環境に興味をもつ。著書に「基本プログラミング」（岩波書店）などがある。

### ■講演2. 「小中高等学校から大学までの情報教育の一貫性」

講師：奥山徹氏（朝日大学 経営学部情報管理学科教授）

Okuyama, Tohru

小中高等学校の学習指導要領が改訂され、特に中学校においては技術・家庭科において情報処理教育が必修となり、高等学校では教科「情報」が新設されました。また、小学校にも、42台のパソコンが導入され、積極的に利用することが求められています。それでは、このように多くの場面で情報処理教育が行われるのですが、それらの間の無駄な重複はないのでしょうか。また、高校までで多くのスキルを身に付けてきた学生に対して、大学では何を教えるべきなのでしょうか。

そこで、本講演では、初等中等教育と大学教育とでの情報処理教育の連続性を考え、特に大学としてどのようなことを考えるべきか考察します。

1982年豊橋技術科学大学大学院工学研究科修士課程物質工学専攻修了。分子科学研究所技官、豊橋技術科学大学工学部助手・講師、朝日大学助教授を経て、2001年より現職。理学博士。

日本化学会情報化学部会、電子情報通信学会、SPIE各会員。日本ネットワークインフォメーションセンター評議委員およびJPドメイン名検討委員会委員長。私立大学情報教育協議会不正侵入対策小委員会委員長。インターネットの技術的問題および教育利用に興味を持つ。

著書に「情報通信プロトコル-LANとインターネット-」（電気通信協会）などがある。

2001年度公開講座アンケート

1. この公開講座は、どこで知りましたか？

a.電車の吊革広告	b.新聞	c.職場からの案内	d.知人からの紹介	e.その他	合計
1	2	6	3	2	14
その他		電子メール	東海スクールネット	複数回答あり	

2. 講座を参加された動機は？

a.興味があった	b.人に勧められて	c.その他	無回答	合計
9	3	0	1	13

3. 講座のテーマ設定はいかがですか？

a.大変良い	b.良い	c.普通	d.あまり良くない	e.良くない	無回答	合計
3	7	1	0	0	2	13

4. 講演内容はわかり易かったですか？

①講演1「情報処理教育の方向性」について

a.大変良い	b.良い	c.普通	d.あまり良くない	e.良くない	無回答	合計
2	7	3	0	0	1	13

②講演2「小中高等学校から大学までの情報教育の一貫性」について

a.大変良い	b.良い	c.普通	d.あまり良くない	e.良くない	無回答	合計
3	6	2	0	0	2	13

5. これからの講座で取り上げて欲しい内容や、今後の大学の活動についてご意見・ご要望をお聞かせください。

- ・本日最後に問題となりました「情報教育」についての講座を情報処理と異なる社会学・マスメディア学の講師を少しですが自分の思いがこのような場で出せたことは良かったです。教育で生きた力を身につけるためには反復練習だと思います。小中高大で同じ事を繰り返して考える内容をやり方によってはスパイラルになり、本当の生きた力になるのです。学生をやめるとき生きる力を身に付け社会に出て行けることが大切ではないでしょうか
- ・入学試験と情報(教科)問題
- ・情報活用を行う学習のあり方などの具体的な事例なども知らせて頂けるとありがたく思います。(他会場の音声をモニタリングしながら進めた方が良いと感じました。)
- ・電子商取引
- ・ブロードバンド
- ・セキュリティ関係
- ・小一中一高と大学側で現状認識が近いところ、遠いところがよく分りました。こうした機会をもっと持ちたいと思いました。現場(小・中・高・大)それぞれの近況報告を今後会報等で継続的に知りたいと思います。
- ・現場の小・中・高の先生方も実況報告として発表して欲しいと思います。

6. 今後の情報交換のために役立てたいと思っております。差し支えない範囲でご解答ください。

性別

a.男	b.女	合計
11	2	13
年齢		
a.10代	0	
b.20代	1	
c.30代	7	
d.40代	1	
e.50代	3	
f.60代	0	
g.70歳以上	0	
無回答	1	
合計	13	

ご職業	
a.会社員	6
b.小学校教員	1
c.中学校教員	1
d.高校教員	3
e.大学教員	0
f.教育機関	1
g.その他	1
合計	13
その他	大学院生

#### 4. 情報処理センター委員会構成員

##### 情報処理センター委員会

役職名		所属	身分	氏名
所長		経済学部	教授	小津 秀晴
副所長		経営学部	教授	田川 光照
委員	名古屋センター	法学部	助教授	太田 明
		経営学部	助教授	河田 賢二
		現代中国学部	助教授	土橋 喜
	豊橋センター	経済学部	教授	蔣 湧
		文学部	助教授	中尾 浩
		国際コミュニケーション学部	助教授	トーマス・M・グロス
		短期大学部	助教授	龍 昌治

##### 情報処理センター事務課

名古屋情報処理センター	課長	樋口 裕嗣
	システム エンジニア	水谷 伸司
		石原 有希子
豊橋情報処理センター	係長	中村 直美
	システム エンジニア	金子 善一郎
		多賀 友洋

## 5. 情報処理センター新職員紹介

1987年の情報処理センターの思い出（自己紹介文に代えて）

情報処理センター事務課分室  
事務係長 中村 直美

このたび4月17日付で情報処理センター事務課分室（豊橋校舎）へ人事異動でまいりました中村直美と申します。私は事務職員として愛知大学に採用後、法人部門（財務課、事務システム課）に在籍していたため、業務の性質上教員・学生の皆さんと接する機会は、あまりなかったので、初めて私の存在を知る方もいらっしゃるかと思います。今回古巣（！？）の情報処理センターで勤務できることは、事務職員として10年目の転機ではないかと感じています。不慣れなことが多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますがよろしくをお願いします。

さて先ほど情報処理センターが古巣だと申し上げたのは、1988年3月に愛知大学法経学部経営学科（豊橋校舎）を卒業するまでの1年の間、当時「愛知大学電算センター」という名称であった情報処理センターで学生相談員として働いていたためです。

1987年（4年生在籍時）における愛知大学電算センターのコンピュータ環境は、マシンルームにIBM製ホストコンピュータ（IBM4331）があり、豊橋・名古屋（現在の車道校舎）各校舎の実習室に10台ほどの専用端末を設置、そしてNEC製（PC-9801）とIBM製のパソコン（IBM5550）が数台設置されていたのを覚えています。専用端末はホストコンピュータと接続し「電子計算機概論（今流に言えば情報基礎でしょうか！）」の実習で、FORTRAN言語やCOBOL言語そしてSPSSの演習で使われていました。自分が作ったプログラムでコンピュータが動き、画面上に計算結果が表示される感動は・・・大学卒業後、情報処理サービス業に従事するきっかけとなりました。前述したようにパソコン環境がまだ整備されていなかったため、パソコンを使った講義は実施されていませんでしたが、一部の教職員が情報処理センターに来ては、パソコンとはどんなものなのかと手探りをしていたのを覚えています。

当時のパソコンのOSは、MS-DOSで、Windowsは存在していません。パソコンのソフトウェアは、一太郎（ワープロソフト）とマルチプランやLotus1-2-3（表計算ソフト：当時はカルクソフトとも呼んだ）が主力を形成していました。一方ハードウェアの技術面では、CPUクロックは16MHz程度で、ハードディスクはオプションで30MB程度の製品しかありませんでしたし、CD-ROMの存在すらなかったのです。

人的体制は、専任職員として事務長と近藤SE（現事務局事務システム課長）の2人が豊橋校舎に在籍し、名古屋校舎（現在の車道校舎）には専任職員は所属していませんでした。また学生相談員は、豊橋校舎及び名古屋校舎には各2人いるだけでした。今の体制と比較すると想像すらできない状態ですね。

卒業後10数年が経過し私にとって、情報処理センターの教育・研究体制の変化は、愛知大学が最も大きく変化した中の1つではないかと感じています。無限の可能性のあるIT技術とともに、今後も発展し続ける情報処理センターの縁の下の力持ち（実際は非力ですが）の存在でありたいと思っています。またお世話になります。よろしくをお願いします。

# 自己紹介

豊橋情報処理センター

多賀友洋

この春愛知大学経済学部を卒業しまして、2002年4月17日より、豊橋情報処理センター事務課分室にて勤務することになりました多賀友洋と申します。

学生時代には、よく情報処理の講義やゼミ、卒業論文の作成、そして授業と授業の空き時間などにセンターを利用していました。パソコンの操作や、私有のパソコンについてわからないことがあった場合など、何度か学生相談員の方々に相談にのってもらったこともありました。

大学に入学した当初は、高校時代に数回パソコンを触った程度で、起動や終了の仕方も曖昧にしか覚えておらず、ましてやワードやエクセルなどはさっぱり分からないという状態でした。しかし情報処理演習や、情報処理論などの情報処理の講義を受講することにより、2年生の頃には一通りの操作はできるようになっていました。また、エクステンションセンター主催のMOUS試験対策講座を受講するなど、センターには大変お世話になっていました。

4月より学生時代とはうってかわってセンターを利用する側ではなく、これからは全く逆側のセンターを管理運営する立場になったわけですが、勤め始めた当初は、センター建物内以外にも仕事があることや、学生相談員の人数の多さなど、今まで知らなかったことばかりで驚きの連続でした。そして日々の業務において、センターの仕事はどれをとっても専門的な知識を必要としているものばかりなので、情報処理の知識に関してまだまだ未熟な私には、本当に毎日が勉強になることばかりです。

早く仕事に慣れ、業務を覚えて、利用者の方々がより一層気持ちよくパソコンを利用していただけるよう努力していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

# 自己紹介

名古屋情報処理センター

石原有希子

2002年2月より、情報処理センター事務課に配属されました石原有希子と申します。前職は名古屋市内にあるソフト会社に勤務しておりました。これまでは、在庫管理システム、販売システムや図書館システムなどのクライアントサーバシステム開発に携わってきました。主に、Windows上での開発言語はVB、ACCESS。データベースはORACLE、SQLServerを用いて開発をして参りました。お客様は殆ど中小企業でしたので、開発から導入、サポートまでを行ってきました。

以前までは開発する側でしたので、この度、愛知大学の情報処理センターにて勤務することになり、立場が180度反対になったため、さまざまな所で違いを痛感しております。これまでは一般の会社がお客様だったのですが、今後は愛知大学生がお客様となります。しかし最終的にはお客様に喜んでもらえるような仕事をして行く、という方針には何ら変わりはないでしょう。こちらの愛知大学では、素晴らしいネットワークシステムが導入されており、また、学生相談員が常に控えているなど、学生が勉強する環境としては私自身非常にうらやましい限りです。開発に携わってきた私にとっては、今後、システムを管理するために必要な知識・経験を積極的に身に付けていかなければなりません。そのために、情報処理センターの先生方や諸先輩方から多くの知識を吸収させていただきたいと思っております。

この現在の素晴らしい環境を、さらに学生が満足できるより良い環境にしていけるよう、微力ながら貢献していきたいと思っております。

## 6. 編集後記

先週から、教員向けの IT 講習会が始まりました。教員方々のニーズと要望に応じ、デモと解説を通じまして「プレゼンテーション用ソフトを利用した教材」、「My Home Page の利用法」、「デジタルカメラの使用」、「教材提示システムの使用」と「ウイルス対策」などの多彩なコースが設けられました。いままでのアンケートの結果から見てみますと、「関心のある講座にはぜひ参加したい」や、「今回のような教員向けの講習会は有益であり、今後も続けてほしい」などの感想・意見が数多く寄せられ、また、今後の要望について、「PowerPoint の詳しい操作と利用法を教えてください」、「実際に HP を作りたい」、「映像の編集、保管法を学びたい」、「データベースの作成方法を勉強したい」などの回答がありました。教員方々からの IT 講習会に関心と要望の高いことにより、情報処理センターは秋期から教員向けの各種の講習会の計画は着々と進んでいます。

今後とも、より多くの先生方々が情報技術をご利用され、教育現場や研究分野でのご活躍をお祈りします。そして、COM を先生方々のコミュニケーション広場として、成果や意見などを含む多くの投稿をいただけますように心から期待しております。

(Y.J.)

## 7. 愛知大学情報処理センター紀要COM 原稿募集要項

情報処理センター紀要「COM」は、年2回発行され、下記の要領で原稿を募集しています。詳細につきましては情報処理センターまでお問い合わせください。

### 1. 著者の資格

- (1) 本学教職員および本学教職員との共著者
- (2) 本学非常勤教員
- (3) 本学学生（教員の推薦があるものに限る）
- (4) 編集委員会が認めたもの

### 2. 投稿原稿の内容

投稿原稿は未発表のもので、下記に係る内容とする。

- (1) 情報教育に関する理論と実践
- (2) 情報科学や情報工学に関する理論とその応用
- (3) 情報システムに関する調査、分析、理論
- (4) コンピュータを活用した研究、教育、および業務等の実践報告
- (5) 本学のコンピュータ利用に関して必要と思われる情報処理センターの報告
- (6) その他（編集委員会が認めたもの）

### 3. 投稿原稿の種類

投稿された論文は編集委員会によって、下記のように区分して掲載する。

- (1) 論文
- (2) 研究ノート
- (3) 解説
- (4) COM コーナー
- (5) その他（編集委員会が認めたもの）

※なお解説については、新たな研究動向や新技術の解説とその意義や影響などとする

### 4. 投稿原稿の体裁

- (1) 和文・英文を問わないが和文が望ましい。
- (2) 原稿用紙は B5 サイズとし、1 ページに 45 字×35 行程度（1575 字程度）で印字し、文字サイズは 10 ポイントとする。
- (3) 原稿の冒頭にはタイトル（サブタイトルも含む）、所属、著者名を表記する。
- (4) 裏表紙（目次用）として、タイトル、著者名の英文を添えること。
- (5) 完成された投稿原稿のみを受理する。
- (6) 複製印刷が可能なように原稿を仕上げる。こと。（手書きの原稿は認めない）
- (7) 美しく仕上げるために、フロッピーを添えるのが望ましい。
- (8) 提出するフロッピーには、ファイルを作成したソフト名および投稿原稿のファイル名を明記すること。使用ソフトは Microsoft Wordまたは PDF 形式が望ましい。  
（使用ソフトによっては、図表の部分が複製印刷となる場合もある）

- (9) フロッピーによるファイルが提出できない場合は、ハードコピーのみとし、複製印刷とする。
- (10) 著者は連絡先（ゲラ等の送付先）の住所、電話番号等を明記すること。

## 5. 校正

- (1) 校正は著者校正を2回とする  
(フロッピーのままですべての校正を行わない場合は、その旨事前に連絡する)
- (2) 校正段階での内容の変更は、総ページ数が増減しない範囲で行なうこと。
- (3) 別刷りは論文ごとに各30部までは無料とする。
- (4) 著者には紀要を2部進呈する。ただし希望があれば10部を限度として進呈する。

## 6. 著作権

- (1) 提出された論文の著作権は、原則として愛知大学情報処理センターに属し、無断で複製あるいは転載することを禁じる。
- (2) 論文作成に際して用いたコンピュータソフトや映像ソフト等の著作権に関する問題は、著者の責任において処理済みであること。他人の著作権の侵害、名誉毀損、その他の問題を生じないように十分に配慮すること。
- (3) 万一、執筆内容が第三者の著作権を侵害するなどの指摘がなされ、第三者に損害を与えた場合、著者がその責を負う。
- (4) 著作人格権は著者に属する。

以上

申し込み・問い合わせ： 愛知大学情報処理センター

TEL : 05613-6-1117(内線 2531)

FAX : 05613-6-2781

---

---

**愛知大学情報処理センター紀要**  
**「COM」Vol.13 No.1 第22号**

2002年10月7日 印刷

2002年10月15日 発行

編集 **愛知大学情報処理センター**

センター紀要「COM」編集委員会

発行 **愛知大学情報処理センター**

愛知県西加茂郡三好町黒笹370

〒470 0296 TEL 05613 6 1117 (直通)

FAX 05613 6 2781

(分室) 豊橋市町畑町1 1

〒441 8522 TEL 0532 47 4124 (直通)

FAX 0532 47 4125

印刷 **新日本印刷株式会社**

---

---

## 情報処理センター教育用パソコン 機種および設置台数

### 名古屋校舎

(台)

設置場所		機種	台数
情報処理センター	第1実習室	HITACHI FLORA 330	60
	第2実習室	HITACHI FLORA 310	45
	第3実習室	HITACHI FLORA 330	20
	オープンフロア	HITACHI FLORA 330	18
中央教室棟	マルチメディア教室	HITACHI FLORA 310	60
東教室棟	E201教室	HITACHI FLORA 330	60
	E202教室	HITACHI FLORA 330	40
大学院			7
研究所			13
名古屋 計			323

### 車道校舎

設置場所		機種	台数
1号館	実習室	HITACHI FLORA 310	48
研究所			2
車道 計			50

### 豊橋校舎

設置場所		機種	台数
情報処理センター (4号館)	420教室	HITACHI FLORA 310	75
		iMac	5
	421教室	HITACHI FLORA 330	52
	423教室	HITACHI FLORA 330	58
	424教室	HITACHI FLORA 270	50
	413教室	HITACHI FLORA 330	25
	1Fフロア	EPSON Windows機	7
5号館(国際3)	523教室	HITACHI FLORA 350	50
大学院			12
研究所			9
豊橋 計			343

総合計 台数

716

## マルチメディアコーナー・メディアコーナー

### 名古屋校舎

(台)

設置場所		機種	台数
図書館棟2F	マルチメディアコーナー	EPSON TYPE-SZ他	70
計			70

### 豊橋校舎

設置場所		機種	台数
図書館棟1F	メディアコーナー	Windows機	30
計			30

---

CONTENTS

Preface ..... Vice Director : Mitsuteru TAGAWA

Articles

A Study about the Means of Musical Contents in the Broadband Generation  
..... Yuichiro MARUYA • Yuichi TAKADA..... 3

Com Corner

Synchronization between Movie and Presentation by SMIL ..... Toru OKUYAMA..... 26

Miscellaneous ..... 36

Editorial ..... 51

---